さくら並木

助け合い（互助）で支える地域づくり

大河原町長　齋　清志

年頭訓辞、そして新春賀詞交歓会で始まった本年も、成人式や各種団体と行政区による恒例行事が順次開催されてきましたが、「〜新年会」は概ね2月中旬頃まで続くようです。一方では、本町らしいまちづくりと厳しい財政状況を踏まえた来年度の予算編成も佳境となり、いつしか正月ムードは一掃されました。それでも新年行事は、町政報告の大切な機会でもありますので感謝の気持ちを持って張り切って出席させていただいているところです。

どうしても話しは堅苦しくなりがちですが、教育のブランド化や助け合いによる地域づくりの重要性、あるいは地方創生や広域的な地域活性化策などの新規事業の意義などについてもわかりやすく説明してきたところです。また、中央公民館リニューアル事業については、老朽化に伴う付帯的な追加工事への対応のため、遅れが生じていることを説明し予めお詫びをさせていただいてきたところです。

さて本題ですが、現在の町の総人口や高齢化率の全体像とは別に、急激な人口減少と超少子高齢社会の進行に晒されている行政区が増加しています。また、認知症のかたも増加の一途を辿り、一人暮らしや貧困問題を抱える高齢者世帯も急増し、社会的孤立が危ぶまれるとともに生活の質や尊厳保持が心配されるようになっています。

国は、「誰もが住み慣れた地域で最後までいきいきと心豊かに暮らせる社会」を目指すとして、支え合いによる地域包括ケアシステムの体制づくりを強力に進めています。裏に国の財政的な要因が隠されているのは明らかですが、具体的には専門性が必要な介護はしっかりと専門職・事業者が支え、日常の生活支援はできるだけ住民やボランティアの主体的な互助活動で支えていこうというものです。

本町でも、助け合いを広げる仕組みとして生活支援コーディネーターと協議体という制度に則って、社会福祉協議会に基盤づくりを委託しています。ネットワーク化という課題も当然ありますが、住民主体の地域づくりにつながる活動分野ごとの応援団や具体的な担い手の出現が不可欠です。助け合いの推進役としての役割が充分果せるよう、行政も積極的な関与が求められていると受け止めています。

本町の地域福祉の現場では、民生委員の活動や行政区のふれあい・いきいきサロン、さらには老人クラブや地域ボランティアも活発な活動を展開しています。しかし、ご近所の日常的な生活が見えにくくなっている現状を考えると、行政区ごとでの「地域」としての捉え方にも様々な限界が見え始めているのではないだろうかと考えているところです。地域包括ケアシステムの真の実現のためにも、地域の実情を知り目指すべき地域像を共有していく重要性を改めて痛感しているところです。

来年度は、新たな介護保険計画もスタートします。10年先を見据えながら、私の10年目の町政の舵取りに全力で邁進する所存です。

（1月22日記）

学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

大河原小学校

110番通報は正しく使おう！

1月10日は110番の日ということで、大河原警察署のご協力をいただいて、「110番教室」を行いました。全校児童が校庭とベランダから見守るなか、県警航空隊のヘリコプター「くりこま」が校庭上空に登場！みんなで元気に手を振ると、校庭に止めた指揮官車を通じて「元気に勉強してください」とメッセージを届けてくれました。

3時間目には、3年生が正しい110番通報のやり方を教えていただきました。子どもたちは、**通報訓練やクイズをとおして警察の仕事に触れ、凛々しい制服姿に憧れの気持ちを高めた子もいたようでした。**

大河原南小学校

オペラ「森は生きている」

子どもたちに芸術への関心を高め、優れた芸術を鑑賞させることを目的とした、オペラ「森は生きている」が本校で開催されました。当日は気温が低く、冬の寒さを体感しながらの公演となりました。圧巻だったのは、主人公の娘がマツユキ草を求めて森へやってきたとき子どもたちが会場一面に白く可憐な花を咲かせた場面でした。また、劇中歌「森へ向かうソリの歌」やフィナーレでの「12月の歌」など、子どもたちが役者さんたちと一緒に歌い、舞台と会場が一体になり盛り上がりも最高でした。

こうした**感動や憧れを味わわせ、「志」を高める教育活動をこれからも展開していきたいと思います。**

暗唱大好き　シリーズ㉒　金小編

「朗読発表会」〜暗唱から外国語活動へ〜

金ケ瀬小学校では、学年毎に朗読発表会を行っています。今回は、5年生が暗唱読本「寿限無」にある英語の自己紹介を、オリジナルにして発表しました。英語の寸劇もあり、各グループで身振り手振りを考え工夫するなど、楽しく演技しました。**今後の外国語の授業や外国語活動につながる5年生の発表に、下学年の子どもたちは、憧れと尊敬のまなざしで真剣に見ていました。**

最後は、暗唱読本にある「ロンドンブリッジ」を、英語で合唱しました。きれいな歌声と正確な英語の発音で歌う姿に、全員が聞き入っていました。

駅前図書館今月の新刊　まちの本棚

一般

■有元葉子の料理教室　春夏秋冬レシピ
有元　葉子／著　【KADOKAWA】

有元葉子の料理教室のレッスンをまとめた一冊。キッチンサラダパーティー、夏に楽しむアジアン料理、和のお弁当、新年を迎えるテーブルなど、季節ごとの献立やテーマ、盛りつけ、テーブルコーディネイトを公開する。

小説

■ひよっこ社労士のヒナコ
水生　大海／著　【文藝春秋】

パワハラ、産休育休、ブラックバイト…。26歳のひよっこ社会保険労務士・ヒナコが、得意先で相談に乗りながら事件を解決していく！読むと心が暖かくなるお仕事小説。『オール讀物』等掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

児童

■小学校では学べない一生役立つ読書術
齋藤　孝／著　【KADOKAWA】

小学4年生くらいから中学2年生くらいまでの時期に、素晴（すば）らしい本をたくさん読んでおくと、国語力はぐんぐん伸（の）びます。受験生になっても、社会人になっても使える、最強の読書術（どくしょじゅつ）を教える本。おすすめ70冊（さつ）リストも付いています。

絵本

■「えがないえほん」
B.J.ノヴァク／さく　おおともたけし／やく　【早川書房】

このほんのルールをせつめいします。かかれていることばは、ぜんぶこえにだしてよむこと。なにがあっても。ということは…こんなことばでも…ばふっ！ぶりぶりぶ〜！あい〜あい〜あい〜！ばびろんばびろんぼよよよよ〜ん！ずっとわらいっぱなしになる、えがないえほん。